

平成30年度 第5回太田地域協議会会議録

平成31年1月30日

太田地域協議会

平成30年度 第5回太田地域協議会会議録 目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	3
■会議録署名委員の指名	4
■報告	5
(1) 太田地域枠予算活用事業実績報告	5
■協議	5
(1) 平成30年度地域枠予算執行事業について	5
(2) 地域公共交通の再構築に関する意見書について	8
■その他	9
■閉会	10
■署名	11

平成30年度 第5回太田地域協議会 会議録

■日 時：平成31年1月30日（水） 午前10時00分

■開催場所：太田支所 2階 会議室

■出席委員：10名

水谷英明、根本昇、富木勇、長澤仁十郎、
水谷仁光、川原猪利、高橋睦子、高橋洋、
小松江里子、倉田吹紀子

■欠席委員：6名

小松泉、倉田満法、小柳真理子、伊藤勝良
鈴木賢一、佐藤田鶴子

■出席職員：7名

谷口 藤美（太田支所長） 藤澤 寿史（市民サービス課長）
野中 正幸（農林建設課長） 黒澤 伸朗（太田公民館長）
倉田 康弘（東部新規就農者研修施設副主幹）
高橋 正人（地域活性化推進室副主幹） 本間 雅詞（地域活性化推進室主席主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 報 告
 (1) 太田地域枠予算活用事業実績報告
- 6 協 議
 (1) 平成30年度地域枠予算執行事業について
 (2) 地域公共交通の再構築に関する意見書について
- 7 そ の 他
- 8 閉 会

(午前10時 開会)

○谷口太田支所長（以下「支所長」と表記）

おはようございます。定刻となりましたので、第5回太田地域協議会を始めさせていただきます。会議を始めます前に、本日の協議会は半数以上の委員の方が出席しておりますので、会議が成立することをご報告いたします。また、会議録作成のために発言の際はマイクを使ってくださるようお願いいたします。それでは、会議の進行につきましては、規定により水谷会長をお願いいたします。

○水谷太田地域協議会会長（以下「会長」と表記）

1月末の会議となってしまいました。今年最初の地域協議会という事ですので、遅くなりましたが皆さま明けましておめでとうございます。今年もよろしくようお願いいたします。今年はや暖冬と言われておりまして、最初のうちはさほどでもないなと思っておりましてけれども、1月末となり、やはり暖かいなと感じるようになりました。また、雪も去年の半分以下くらいでないかと感じますし、朝に除雪をする回数も少なくて非常に楽をさせてもらっていると思います。また、今年インフルエンザの流行が例年以上となっているようです。我々福祉の分野や、病院等医療機関でも集団発生が出てしまっており、感染の予防に神経をとがらせているところです。施設での感染につきましては、昔、例えば介護保険制度が始まる前と比較して10倍か20倍くらいまで増えていると思います。集団の中で発生してしまえば、人数が多いので一気に感染が広がってしまう仕組みになっている状況です。

という事で今年もよろしくようお願いいたします。

また、今日のこの会議の場ですが、委員の皆さんも入ってきて「おっ」とびっくりされたと思いますけれども、事務局にお願いをしまして、テーブルのレイアウトを従来の会議式からグループワーク等によく見られる形式へ変えてみました。地域協議会の性質を考えると、国会の与党、野党というような形式ではなくてですね、委員と事務局、行政とが協力しあいながら討議をしたり、わからない所を相互に補完したりという関係であるべきではないかと思えます。これまでの配置の雰囲気ですと、我々委員の側から事務局へ「これはどうなっているのか？」と問いただすでもありませんけれども、そういう感じがしましたので、グループの中でも結構ですし、話しやすい方とでもいいですし、もっと話をしやすい雰囲気で進めていきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただ今より平成30年度第5回太田地域協議会を開会いたします。

開会にあたりまして、谷口支所長よりご挨拶をお願いいたします。

○支所長

あけましておめでとうございますという挨拶が憚られる時期になってしまいましたけれども、今年もどうぞよろしく願いいたします。私から一言お話をさせていただきます。

皆さんご承知の事と思いますが、先週24日夜から翌25日にかけて、横沢の竹屋さんの所で非常に大きな火事がありました。火元となった住宅とその隣の住宅が全焼、そして竹屋商店さんの店舗が全焼、さらに竹屋さんの住宅の壁が焼け、ガソリンスタンドのコンクリートの壁が少し焦げたという事で、面積にしますと950平米程の大きなものでした。私も4年間市民サービス課長という立場で消防業務の担当をして参りましたが、3軒が焼けたという火災はありませんでしたし、私が役場に入ってから昭和60年11月に大曲農業高校太田分校の火災という大きな火事がありました、それに次ぐ程の大きな火事だったと思います。本日は消防署OBの富木委員もおられますけれども、消防団の方々は夜中の11時30分頃から出動され、鎮火時刻は2時30分頃でした。消防署はこの時間で帰られましたが、地元消防団の団員の方がたは火元周辺の警戒を継続され、夜通し活動をしていただきました。一番長く従事された方ですと、夜の11時30分から現場検証が終わったのが夕方の6時ころでしたので、約20時間にもわたり不眠不休で警戒にあたっていたいただきました。幸い近所の原料館さんが炊き出しをして下さいましたので本当に頭の下がる思いでありました。とても寒い日でしたので、団員の皆さんは防寒対策をなさって任務に就かれておりましたけれども、本当にご難儀をかけまして、ありがたいと思った次第です。消防団としての活動ですので、半分は仕事、半分はボランティアという所ですが、地域の安全を使命感をもって守って下さっていた姿に心から感謝を申し上げます。

さて、昨年の秋田県はスポーツの話題で盛り上がった年でありました。最初には北都銀行のバドミントン部のペアが世界選手権で優勝したという事に始まりまして、その後高校野球の金足農業が甲子園で準優勝と頑張りました。太田地域もこれに負けていないという事でお話をさせていただきます。箱根駅伝ですが、大仙市神岡地域出身の湊谷選手が主将を務める東海大学が初優勝を収めましたけれども、太田地域の出身の方も箱根を走っております。順天堂大学2年生の高橋（澤藤）響君です。スタートの第1区を走りました。私も「走るかもしれない」と事前に情報をもらっていたのですが、この時の情報では7区だろうとの本人の話でしたので、だとすると2日目に登場すると油断しておりましたが、第1区になったという事で慌ててテレビをつけて応援しました。区間順位は19位でしたが、まだ2年生ですので来年以降の活躍が期待されるところであります。あと、春の高校バレーの秋田北高校ですが、煤賀愛純さんという方が太田中の出身の方でして、残念ながら1回戦で負けてしまいましたけれども太田中学校から進学した生徒が主将を務めたという事で、しかも全国大会へ出場できたという事はうれしいニュースでありました。また、先日開催されました秋田県の高校スキー大会です。大回転の種目で角館高校1年生の高橋凜子さん、この方も太田中学校から進学なさった方ですが、大回転の種目に絞って練習を続けている生徒さんで、見事優勝してインターハイに出場する事になり、1月の時点でありましたけれどもこういう方がたが活躍しております。明後日配布になります市広報太田支

所のお知らせ版がありますが、この中に彼ら彼女らを紹介する内容のものを合わせて配布させていただきますのでご覧頂きたいと思っております。また、大曲工業高校、大曲農業高校、大曲高校、角館高校の野球部の主将が全員太田中学校の出身者という事で、2月8日に太田中学校の鈴木教頭先生を囲む会を開催する予定です。この4人の主将と煤賀さん、それと大曲農業高校のサッカー部の主将も太田中学校出身だったようです。駒場の伊藤さんという生徒さんで、この生徒さんたちは太田中学校時代に駅伝で全国大会に出場し、学業の面でもスポーツの面でも優秀な生徒さんがそろっていた学年だったようです。こうした生徒さんたちから集まっていたいただいて会を開催し、ホームページ等へ掲載したいと思っております。太田の子どもたち、こんなに頑張ってくれておりますので、我々大人も頑張らなければという事で紹介をさせていただきました。

それから、2月2日の土曜日ですが、太田の火まつりが開催されます。準備作業が進んでおりますし、会場の除雪も明日あたりから入ると聞いております。今回が第38回目となり、再来年で第40回となりますが、地域からの紙風船というのが小神成集落と上下斉内と石神惣行の子ども会という事で、最近下太田の地域からあがっている風船がなくて、できればなんですが40回の大会を目指して下太田の地域から、横沢、中里、三本扇、駒場、国見の各地域になる訳ですけれども、こうした地域からも風船をあげてもらいたいと思っている所です。来年度の事業計画になる訳ですが、紙風船づくりの講習会の開催と、もし集落で作ってみたいという声があればそこに講師を派遣して作ってもらうという事業を検討しております。来年度の話といいながらも今年の話でして、秋の稲刈りが終わった頃、できれば正月前にこうした事をしまして、太田地域全体で火まつりの開催を盛り上げようという動きを企画している所ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますけれども、今回も三本扇集落からの環境整備事業と、北部センター周辺となっておりますが、上堰集落からの環境整備事業が申請されております。前回までに申請を頂いている3つを含め、今年度は5つの集落から申請がありました。地域枠予算を活用して地域の課題を解決するという事で、最も地域枠予算の活用方法としてふさわしいという気がしております。これまでも何度かお話をしておりますし繰り返しになりますけれども、委員の皆さんのお住まいの集落や地域でも、地域の課題があったり、困ったという事がありましたら、地域活性化推進室へご相談をいただきたいと思います。役所ではどうしても予算の問題が見え隠れしてしまいますが、地域枠予算の活用につきましては積極的に使ってくださいという滅多にないパターンのお話になりますので、様々に利活用をお願いしたいと思います。どうか皆さん、よろしくをお願いいたします。以上で終わります。

○会長

ありがとうございました。それでは、次第4の会議録署名委員の指名をさせていただきます。会議録署名委員は、根本昇委員、高橋洋委員をお願いいたします。

次に、次第の5の報告に入ります。太田地域枠予算活用事業実績報告につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【 （1）太田地域枠予算活用事業実績報告について、配付資料に基づき説明 】

○会長

ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありました。この内容についてご質問等ありましたらお願いいたします。

（「意見なし」の声あり）

○会長

ご意見なさそうですので、ただ今の事務局の報告のとおりといたします。

次に、次第6の協議に入ります。平成30年度地域枠予算執行事業について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【 平成30年度地域枠予算執行事業について、配付資料に基づき説明 】

・実施類型【①行政主導型】

1. 太田地域観光誘導看板改修事業

事業目的：太田地域内の観光看板の劣化が進み、修理の必要があり改修を実施するもの。

申請額：475,600円（需用費、委託料）

2. 「私の昭和」手記集発行事業

事業目的：昨年度作成した手記集の頒布を続けているが残部数が少なくなり、今後の頒布に対応するために増刷を行うもの。

申請額：216,000円（需用費）

・実施類型【②市民協働型】

3. 三本扇集落環境整備事業

事業目的：三本扇地域の公園の桜の木について、テングス病にり患したものが多くなり、交通に支障を来している部分もあることから作業車等の費用を支援し、テングス病枝の除去や整理を実施するもの。

申請者：三本扇部落会

申請額：239,976円（使用料及び賃借料）

4. 北部センター周辺環境整備事業

事業目的：北部センター前の緑地にあるトチの木があまりに高くなり、管理に支障が出ている事に加え落葉や落実が緑地並びに北部センターの管理に影響を及ぼしているため、対象樹木を伐採して環境の整備に資する。

申請者：上堰集落

申請額：280,800円（使用料及び賃借料）

・実施類型【③市民主導型】

5. 大台からアルペンスキーヤー輩出応援事業補助金

事業目的：大台スキー場を練習会場としている団体の利便性向上並びに大会開催時の連絡の向上、さらにはスキー場利用者の安全確保へとつながる音響設備の向上（ケーブル増設）への補助金

申請者：太田町スキー連盟競技委員会

申請額：226,000円（補助金）

○会長

ただ今事務局より地域枠予算の申請についての説明がありました。委員の皆さんからのご質問等ありましたらお願いいたします。

すみません、一ついいでしょうか。あの、事業の中身という事ではないのですが、最近の申請を見ていると樹木の管理に関する申請が多くなったと思います。去年は確か小学校の松の木から雪が落ちて危ないという話があったと思いますけれども、なかなか予算がつかなくてという事になってしまうのですが、確か教育委員会の管轄になると聞きました。こうしたケースも含め、樹木は今後どんどん大きくなると思います。ある程度の大きさ、高さで止めるというような管理の方法はあるものでしょうか。何か情報お持ちの方いらっしゃればお話いただければと思います。

○野中農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

頻繁に枝を剪定していくしか方法がないのではと思います。

○支所長

樹木の芯といいますか、てっぺんを切つてしまえばそれより高くはならないようですが、今度は芯を止めた事で枝が広がってしまいます。上を止めてしまえば横に広がってしまうそうです。冬場はどうしても雪の影響がありますので難しいところだと思います。

○会長

ありがとうございます。川原委員お願いします。

○川原猪利委員（以下「川原委員」と表記）

川原です。今回の申請とは直接関係ないのですが、たまたま木の話になったので。野球場の樹木についてですが、強風の影響で何本か倒れてしまいました。その処理はしていただいたようなのですが、その後改めて植樹したかどうかの情報がありますか。また、今後植えるという予定はありますか。

○黒澤太田公民館長（以下「公民館長」と表記）

倒木の処理はいたしました。その後の植え直しはしておりません。また、今後新たに植樹する予定も今のところはありません。

○会長

わかりました。先ほどの小学校の話ですが、去年は確か枝の雪塊が大きく凍ってしまい、なかなか落ちずに残ってしまい危ないという状況でした。今年はそういう所までいかないと思いますけれども、学校となればこうした大きな樹木がまだたくさんありますので、何かいいアイデアありましたらお寄せ頂きたいと思います。

○水谷仁光委員（以下「水谷委員」と表記）

水谷です。樹木も生き物ですから、枝も生えれば上にも伸びます。ここは雪国ですから、落雪は必ず発生することです。ですから、そうした危険個所の下にわかるように看板を設置するとかで、危ない事を知らせることが重要だと思います。こうした注意喚起が何もなければ、例えば雪にぶつかったという事故が起きればそれは管理している人が悪いという事になってしまいます。看板でもあれば、それは見ない人が悪いという事になるのだから、注意喚起することが重要だと思います。その上で、例えば芯止めするかどうかという議論になるのであれば、それはまた別の問題になってくるのではないのでしょうか。

○会長

景観の維持と管理のバランスをうまくとりながら考えなければならないですね。難しい問題だと感じます。ご協議ありがとうございました。

さて、先ほどの地域枠予算の申請についての質問ですが、ご意見等ないようですので、質疑を終わります。お諮りいたします。

一つ目の「太田地域観光誘導看板改修事業」につきまして、地域枠予算として承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認頂いたものといたします。

次に、「私の昭和手記集増刷事業」ですが地域枠予算として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認頂いたものといたします。
次に、「三本扇集落環境整備事業」につきまして、地域枠予算として承認してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認頂いたものといたします。
次に、「北部センター環境整備事業」につきまして、地域枠予算として承認してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認頂いたものといたします。
最後に、「大台からアルペンスキーヤー輩出応援事業補助金」につきまして、地域枠予算として承認してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

異議なしの声がありますので、地域枠予算事業として承認頂いたものといたします。
以上をもちまして地域枠予算に関する協議を終了いたします。
続きまして、協議案件の2つ目「地域公共交通の再構築に関する意見書について」を議題といたします。事務局からの説明をお願いいたします。

○事務局（市民サービス課長）

【 「太田地域協議会の意見書（案）」について説明 】

○会長

説明が終わりました。
今回の案ですが、前回の協議会におきまして皆さんから頂いた意見を反映し、修正したものととなっております。つきましては、この案を太田地域協議会の意見書として提出することにしたのですが、よろしいでしょうか。はい、水谷委員どうぞ。

○水谷委員

水谷です。前回の意見を反映していただき、また委員の意見としてとりまとめをもらい、ありがとうございます。意見書という形ですから、今までしてきた討議のやり方でよかったのかどうかは別にしまして、協議会として認められた内容はこういうものかと思っておりますので、よろしくお願ひします。ただ、一つ付け加えるとすれば、現在の大仙市の公共交通に関する事業サイクルの検証ですね、P D C Aサイクルで回すと記載のあったものです。こうした検証、評価と我々が出した意見やアイデアと果たしてどれぐらいの乖離があるものなのか、またその方向性がきっちりしているのかも分かりません。ですから、今現在の計画の中身と、各地域からあがってくる意見書との整合性を図ることも当然必要になってくるのではないかと考えます。意見書がどうこうという事はありませんが、今後も進捗との整合性の報告を頂いたりして、我々の方向性の正否や従来計画との整合性をご報告いただきたいと思いますところでもあります。以上です。

○会長

水谷委員どうもありがとうございました。意見書としてはこれでいいけれども、今後の話としての意見でした。他に、委員の皆さん何かございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、この案をもって太田地域協議会からの意見書とさせていただきます。今後も計画の策定や事業に関するアイデアなど、ご意見をいただく機会があろうかと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。以上をもちまして本日の協議を終了させていただきます。ありがとうございました。

次に、次第の7のその他に入ります。委員の皆さまから何かございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

事務局からは何かありませんか。

○事務局（地域活性化推進室）

【 次回地域協議会の日程について説明 】

○会長

それでは、今回の開催が今年最初という事もありますし、せっかくこのようなレイアウトにして頂きましたので、委員の皆さんの専門分野の事でもいいですし、地域の課題や問題点等情報交換をしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(出席委員相互による情報交換を実施)

○会長

委員の皆さん、貴重な意見交換をありがとうございました。

以上をもちまして本日の会議を終了いたします。本日も長時間にわたりありがとうございました。

(午前11時35分 閉会)

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員

根 本 昇

高 橋 洋
